

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成18年4月1日～平成20年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立第1緑地保育センター	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市若松区大字竹並925番地の1		
	設置目的	・緑と太陽のもとで遊びを中心とした保育を行い、豊かな自然の中で宿泊体験や集団生活を通じて幼児に創造性・自主性・協調性などを養うことで、21世紀を担う心豊かで健康な子どもを育成するために設置された児童厚生施設。		
指定管理者	名称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団		
	所在地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 ・宿泊保育の事業の実施 ・日帰り保育事業の実施 ・親子保育事業の実施 等 			
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日			

2 管理運営実績

	目標(計画)	実績	要因・原因分析
施設の設置目的の達成状況	【継続事業目標】 ・宿泊保育 ...5,000名 ・日帰保育 ...7,100名 ・親子宿泊 ...160名 【新規事業提案】 ・育児サークル支援実施 ・ファミリーレクリエーション実施	【18年度実績】 ・宿泊保育 ...4,447名 ・日帰保育 ...7,546名 ・親子宿泊 ... 146名 ・育児サークル支援 ... 255名(編) ・ファミリーレクリエーション... 248名(編)	施設の利用者は、市内保育所・幼稚園の児童等に限定されていることや、施設が老朽化している為、伸びなやんでいた。 その様な中、指定管理導入後、新規事業を実施す

	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導実施 (指定管理者申請書より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導 ... 273名(継続) ・障害児支援 ... 99名 <p>【19年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊保育 ... 4,038名 ・日帰保育 ... 7,606名 ・親子宿泊 ... 88名 ・育児サークル支援 ... 495名 ・ファミリーレクリエーション... 127名 ・訪問指導 ... 381名 ・障害児支援 ... 221名 ・アイデア活用制度...171名(継続) <p>(自搬脱離ファミリーデイキャンプ)</p>	<p>ることにより、利用者増が図られた。</p> <p>【参考(平成17年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊保育 ...4,370名 ・日帰保育 ...8,443名 ・親子宿泊 ... 118名
<p>利用者の満足度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって「楽しい」「充実したプログラム」「安心して利用できる施設」を目指す。 	<p>【アンケート結果】</p> <p>提供サービスの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *満足(非常、概ね) 18年度93%、19年度100% <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> *満足(非常、概ね) 18年度86%、19年度98.9% <p>職員の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> *満足(非常、概ね) 18年度97%、19年度100% <p>安全性への配慮、トラブル対応</p> <ul style="list-style-type: none"> *満足(非常、概ね) 118年度90%、19年度100% 	<p>設立当初より、当該施設の運営を受託しており、利用者が満足できる運営ノウハウを有しており、利用者からは高い評価を受けている。</p>
<p>収支状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度決算(47,089千円)に比べ12%削減の、41,380千円を目標とする。 	<p>【委託料】</p> <p>平成18年度：41,380千円 平成19年度：41,844千円 アイデア活用制度実施経費464千円増</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営努力等により、委託料等の削減に努めている。

3 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		44
(1) 施設の設置目的の達成 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	35	5	35
[評価の理由] <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、基本的には市内保育所・幼稚園に在園する児童・保護者・職員等に限定されているが、新規事業の実施や指定管理者側での営業・広報活動を行い、目標以上の利用者があった。また、市外利用を自ら提案、市と協議し利用者増への積極的な取り組みを行った。 ・利用者を増やすための新規事業としては、指定管理後（18年度以降）育児サークル支援、ファミリーレクリエーション、訪問指導等を行った。更に、19年度は、指定管理者アイデア活用制度支援事業を積極的に活用し、「遊び」のプロの緑地保育センターと障害児療育のプロである小池学園、ひまわり学園の専門スタッフがコラボするという福祉事業団ならではの他に例のないデイキャンプ事業を実施した。内容も療育スタッフ、大学講師、多くのボランティアと連携し、単なるデイキャンプではなく、講演や子育て相談、個別アドバイスまであり、非常に充実した事業となっている。 *これらの点から、施設の設置目的の達成に向けた取組みは、十分であると思われる。			
(2) 利用者の満足度 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分になされたか。 その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	15	3	9
[評価の理由] <ul style="list-style-type: none"> ・市が行ったアンケート調査の結果については、非常に満足・概ね満足の結果がほぼ100%であり、利用者の満足度は高い。 ・施設利用者アンケート（指定管理事業者実施）を毎回実施しており、大多数の方から 			

<p>満足を得ている。また、宿泊保育に対する利用前、利用中ミーティングを実施し、その意見の中で、例えば、野外活動のコースの変更など、柔軟な対応を取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内保育所・幼稚園等の団体に対して、年3回の事業案内の郵送、親子宿泊・ファミリーレクリエーションの開催案内を市政だよりに5回掲載している。 ・ホームページ開設の準備を進めた。(H20年4月開設) 				
2	効率性の向上等に関する取組み	30	24	
(1) 経費の低減等		30	4	24
<p>施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。</p>				
<p>清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p>				
<p>経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>				
<p>[評価の理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりの人員を配置しながら、自ら経営改革を実施し、人件費を目標値の約30%削減した。 ・指定管理者の他の施設(60施設)と合同して入札等を行い経費の削減に努めている。 ・館内清掃業務委託の一部を職員が実施することで、経費の軽減を図った。 <p>* これらの点から、経費削減に向けた取り組みは、十分であると思われる。</p>				
(2) 収入の増加				
<p>収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p>				
<p>[評価の理由]</p>				
3	公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20	12	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況		10	3	6
<p>施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。</p>				
<p>職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)</p>				
<p>地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p>				
<p>[評価の理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規職員の長期休務などはなく、指示通りの人員を配置した。 ・職員についての研修(全国野外保育センター連絡協議会研修・保育指導力アップ研修・発達障害児療育研修等)を受講している。 ・隣接するグリーンパーク・サイクリングターミナルと協力し、カンガルー見学や自転車の貸出し等、プログラムの多様化を実現している。 <p>* これらの点から、管理運営に関する取り組みは、十分であると思われる。</p>				

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p>[評価の理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については、福祉事業団個人情報保護規程の基、適正に取扱っている。 ・施設利用については、応募多数の場合、抽選で決定している。 また、空きがある場合は、先着順で決定している。 ・事故防止に向けて、緑地保育センター安全管理の点検項目に従い、日常点検を実施している。更に、設備面でも、防犯カメラ、防犯ミラー、ブザー等を設置し安全対策に取り組んでいる。 ・防犯、防災対策や危機管理については、福祉事業団施設事務局緊急連絡網が整備されており、適切に対応している。 <p>*これらの点から、平等利用、安全対策に向けた取り組みは、十分であると思われる。。</p>			

【総合評価】

合計得点	80	評価ランク	B
<p>[評価の理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設の利用者は、基本的には、市内保育所・幼稚園に在園する児童・保護者、職員等に限定されており、利用者を増やすことには、一定の限界がある。 また、施設の目的（宿泊体験や集団生活を通じて幼児に創造性・自主性・協調性を養う）から、利用料金をとっておらず、利用が増えることによって、市・指定管理者の収入が増加することはない。 ・利用者満足度を高めることが重要と考えており、大多数の利用者からは満足との評価を受けている。 ・指定管理者は、指定管理後の平成18年度以降は、育児サークル支援、ファミリーレクリエーション、訪問指導等に新規に取り組むとともに、平成19年度には、指定管理者アイデア活用制度支援事業を活用して、自閉症児等ファミリーデイキャンプを開催し、発達障害児に対する福祉サービスの向上、施設の有効活用を実施しており、利用者増や、利用者の満足度を高めるための取り組みを積極的に行っている。 ・人件費の見直し等に取り組んでおり、大幅な経費の削減を図っている。 			

- ・ 経験豊富な専門性の高い職員による運営管理が実施されているため、利用者が安心し、満足の行く施設利用が行われている。
- ・ 施設の平等利用、安全対策、危機管理体制などについても、適切な管理が行われている。これらの点を踏まえて、総合的に評価すると、指定管理者として、本施設の目的を十分に理解したうえで、レベルの高い管理・運営を行っているとは判断できる。

[北九州市指定管理者制度推進会議（評価部会）の意見]

通常の日帰り・宿泊保育に加えて、新規事業（育児サークル支援、訪問指導等）の実施やアイデア活用制度の取り組みは高く評価でき、設置目的は十分に達成している。
アンケートについては、適正なサンプル数の確保及び設置目的に沿ったアンケート項目を検討されたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		
5	100%	良 好	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%		目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%		目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる
（合計得点が90点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる
（合計得点が80点以上90点未満）
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
（合計得点が50点以上80点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
（合計得点が30点以上50点未満）
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
（合計得点が30点未満）